

# 横浜市内の蚊成虫生息状況調査結果

## －平成27年6～10月－

医動物担当では、健康福祉局蚊媒介感染症ウイルスサーベイランス事業の一環として主に市内公園等において蚊成虫生息状況調査を行っています。蚊媒介感染症は、デング熱、ウエストナイル熱、チクングニア熱、日本脳炎などがあり、それぞれ主要媒介蚊が異なります。またデング熱は、平成26年8月に、約70年ぶりとなる国内発生がありました。そのため、感染症発生時対策として、平常時より地域特有の蚊成虫生息状況を把握しておくことは必要です。

平成27年は電池式ライトトラップ(CDC型:ドライアイス併用、写真1)を用いた蚊成虫捕獲調査を市内25か所(各10回)で行いました。調査場所は平成26年より6か所増加しています(図1・表1)。ライトトラップの設置回収は、各区福祉保健センター、神奈川県ペストコントロール協会、衛生研究所が行いました。また、山下公園(中区)の6地点において、ヤブカ属の捕獲を目的として捕虫網を用いた調査(8分間スウィーピング法、写真2)を10回行いました。

捕獲された蚊は調査場所ごとに種類を同定し、雌成虫については、ウイルス検査担当に供出しました。蚊媒介感染症ウイルス検査結果については、衛生研究所HPに掲載しています。今回は、市内における蚊成虫生息状況調査結果について報告します。



写真1 CDC型ライトトラップ



写真2 スウィーピング法



図1 蚊成虫捕獲調査地点

表1 蚊成虫捕獲調査地点

区	調査地点	区	調査地点	区	調査地点
鶴見	大黒中央公園(A)	中	シンボルタワー(J)	緑	北八朔公園(S)
	馬場花木園(B)	南	蒔田の森公園(K)	青葉	桜台公園(T)
神奈川	三ツ沢公園(C)	港南	久良岐公園(L)	都筑	都筑中央公園(U)
西	掃部山公園(D)	保土ヶ谷	陣ヶ下溪谷公園(M)	戸塚	舞岡公園(V)
	臨港パーク(E)		児童遊園地(N)	栄	本郷ふじやま公園(W)
中	山下公園(F)	旭	こども自然公園(O)	泉	泉中央公園(X)
	横浜公園(G)	磯子	岡村公園(P)	瀬谷	二ツ橋南公園(Y)
	港の見える丘公園(H)	金沢	海の公園(Q)		
	根岸森林公園(I)	港北	大倉山公園(R)		

〈ライトトラップ法により捕獲された蚊の種類と個体数〉

ライトトラップ法により捕獲された蚊の種類と個体数を表2に示しました。

捕獲された蚊成虫の雌雄合計は、7属12種9,050個体でした。最も多く捕獲された種類は、ヒトスジシマカ6,964個体(77.0%)でした。次いで、アカイエカ群が1,345個体(14.9%)、キンバラナガハシカが237個体(2.6%)、ヤマトヤブカが235個体(2.6%)捕獲されました。

表2 蚊の種類と個体数(ライトトラップ法:25か所×10回)

属	種	個体数			
		雌	雄	合計	(%)
イエカ属	アカイエカ群*1	1,303	42	1,345	(14.9)
	コガタアカイエカ	49	3	52	(0.6)
	カラツイエカ	25	6	31	(0.3)
	トラフカクイカ	3	4	7	(0.08)
ヤブカ属	クシヒゲカ亜属	8	0	8	(0.09)
	ヒトスジシマカ	6,072	892	6,964	(77.0)
	ヤマトヤブカ	224	11	235	(2.6)
クロヤブカ属	オオクロヤブカ	17	0	17	(0.2)
ナガハシカ属	キンバラナガハシカ	201	36	237	(2.6)
ナガスネカ属	ハマダラナガスネカ	25	4	29	(0.3)
チビカ属	フタクロホシチビカ	4	1	5	(0.06)
ハマダラカ属	シナハマダラカ	1	0	1	(0.01)
	その他*2	109	10	119	(1.3)
合計		8,041	1,009	9,050	



ヒトスジシマカ 雌

\*1: アカイエカ群には、アカイエカ、チカイエカ、ネツタイエカの3亜種が含まれる。3亜種は実体顕微鏡下での外部形態による同定が容易ではないため、多くの調査で、アカイエカ群として扱われている。

\*2: 破損の激しいもの

〈調査地点別の蚊捕獲数:ライトトラップ法〉

調査地点別の蚊捕獲数を図2に示しました。調査期間中最も多く捕獲されたのは、掃部山公園(西区)で2,214個体でした。次いで、馬場花木園(鶴見区)が778個体、都筑中央公園(都筑区)が544個体、北八朔公園(緑区)が541個体でした。また横浜港に近い調査場所である、臨港パーク(西区)、中区の山下公園・横浜公園・シンボルタワーはアカイエカ群の捕獲数が多く、その他の調査地点はヒトスジシマカが多く捕獲されました。

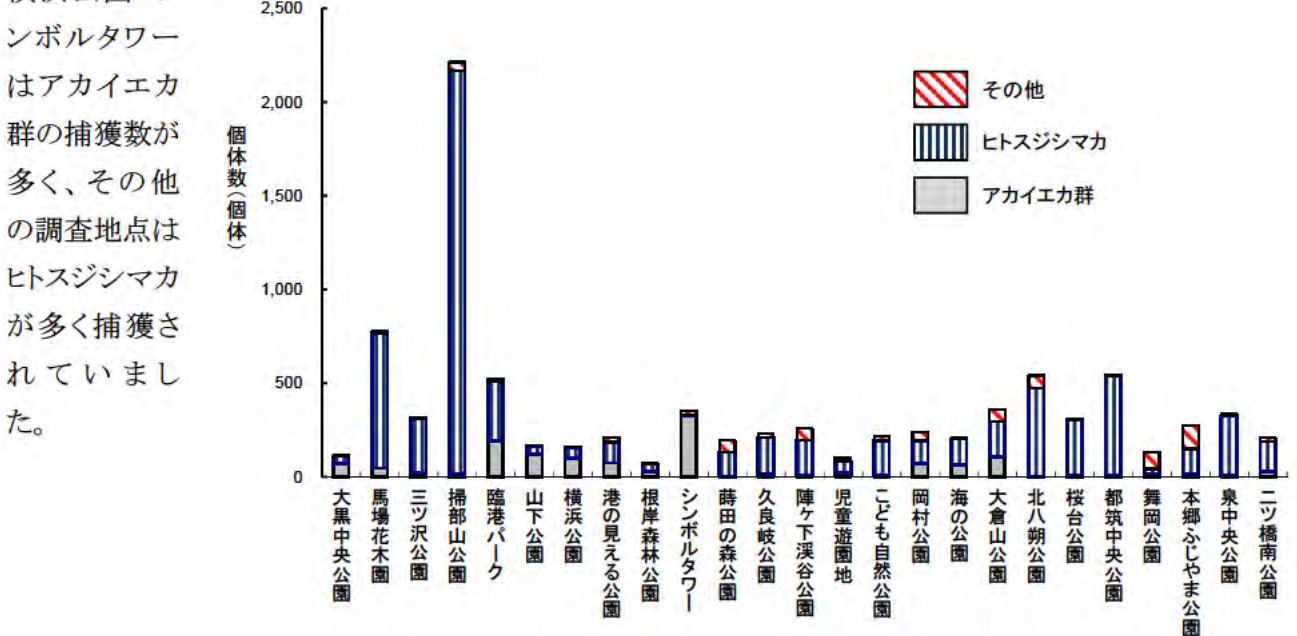


図2 調査地点別の蚊捕獲数

〈スウィーピング法により捕獲されたヒトスジシマカ個体数：山下公園〉

山下公園内の6地点において、8分間スウィーピング法による蚊成虫調査を10回行いました。調査の結果、ヒトスジシマカの雌成虫は120個体、雄成虫は65個体、合計185個体捕獲されました。

〈スウィーピング法によるヒトスジシマカの季節消長：山下公園〉

スウィーピング法により捕獲されたヒトスジシマカ成虫の季節消長(6地点の合計)を図3に示しました。ヒトスジシマカは調査期間を通じて捕獲がみられ、8/27に59個体と最も多く捕獲されました。

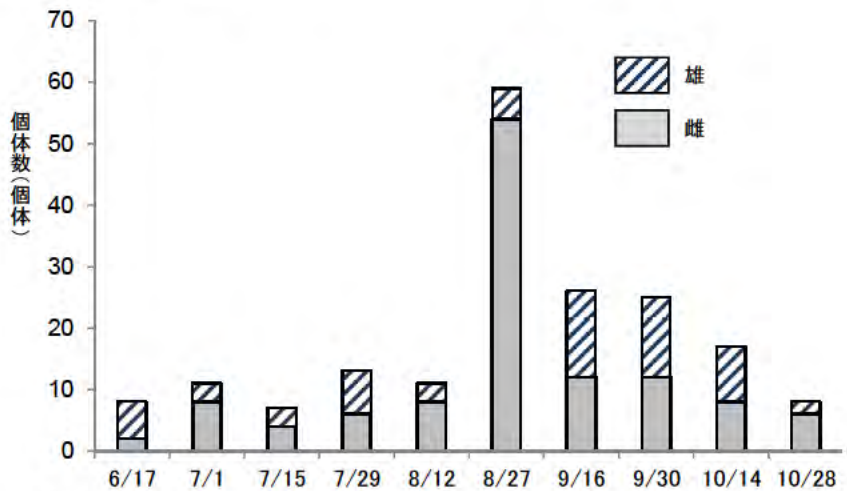


図3 山下公園のヒトスジシマカ季節消長(スウィーピング法:6か所合計)

マメ知識 … ライトトラップ法とスウィーピング法は何が違うの???

ライトトラップ法は、機械を夕方から翌朝まで運転し、蚊を捕獲する方法です。長時間かかりますが、多くの種類の蚊が捕獲できるので、その地域の蚊の種類相を調査するために用いられる方法です。また、スウィーピング法は、あらかじめ決めておいた場所で、調査者が捕虫網を持ち一定時間に飛来する蚊成虫を捕獲する方法です。茂みで待ち伏せし、昼間に活動するヒトスジシマカなどのヤブカ属の仲間を捕獲する方法として有効です。どんな目的で調査をするかによって方法を選択する必要があります。

	ライトトラップ法	スウィーピング法
時間	長時間:夕方~翌朝まで	短時間:8分間程度(1か所)
採れる蚊	ヤブカ属だけでなく、イエカ属など多種類が採れる	ヤブカ属が中心
特徴	定期的なモニタリングに有効	たくさんの場所を短時間で調査できる

蚊に刺されないように気を付けましょうね!



デング熱発生時の調査に有効だよ!!